

kikkoman



# MEDICAL NEWS

キッコーマン メディカルニュース

ホームページアドレス <http://www.kikkoman.co.jp/hospital/>

第36号  
平成20年11月1日発行

## 生活習慣病について

キッコーマン総合病院 生活習慣病内科医長 佐々木

信和

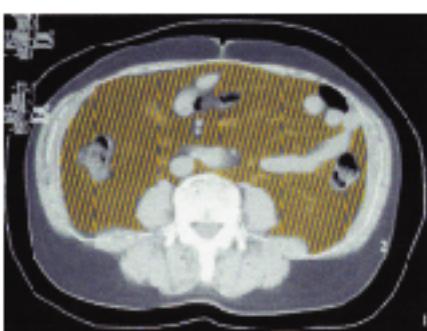


生活習慣病とは糖尿病・脂質異常症・高血圧等、生活習慣が発症原因に深く関与していると考えられる疾患の総称です。このような疾患と腹部内臓肥満を複合する状態を「メタボリックシンドローム」といいます。癌・脳卒中・心臓病の3大死因も生活习惯との関わりが強く肥満はこれらの疾患になるリスクを上げる事からも「メタボリックシンドローム」の正しい理解を持つ事は重要です。

### 1 「メタボリックシンドローム」

「メタボリックシンドローム」は2005年4月の学会で初めて診断基準が決定された病気です（図A参照）。CTスキャナー等での内臓脂肪測定（図B参照）を行う事が望ましく①～③の基準のうち、2つ以上を満たすと「メタボリックシンドローム」と診断されます。また①～③のうち、治療中の疾患がある時は、それは既にリスクと數えます。もし診断されれば糖尿病の診断の為の検査も薦められています。

ウエストのCT画像 (B)



内臓脂肪(斜線の部分)型肥満  
(メタボリックシンドローム)

腹腔内脂肪蓄積 (A)	
ウエスト周囲径 男性 $\geq 85\text{cm}$	女性 $\geq 90\text{cm}$
(内臓脂肪面積 男女とも $\geq 100\text{cm}^2$ )	
上記に加え以下のうち2項目以上	
① 空腹時血糖値	$> 110\text{mg/dL}$
② 脂質代謝異常	高中性脂肪血症 $\geq 150\text{mg/dL}$ かつ／または 低HDL-C血症 $< 40\text{mg/dL}$ (男女とも)
③ 高血圧	収縮期血圧 $\geq 130\text{mmHg}$ かつ／または 拡張期血圧 $\geq 85\text{mmHg}$

### 3 内臓脂肪は減りますか？

「内臓脂肪」と「皮下脂肪」は蓄積の仕方も燃焼のされ方も違います。「皮下脂肪」には食事療法は有効ですが運動療法が効きにくいのに対し「内臓脂肪」はすぐに使える脂肪で、蓄積され易い反面、燃焼もされ易く食事療法と運動療法がとても効果的です。（図C）のように内臓脂肪を減らす事により「高血糖」「高血圧」「脂質異常」を一網打尽に出来ます。

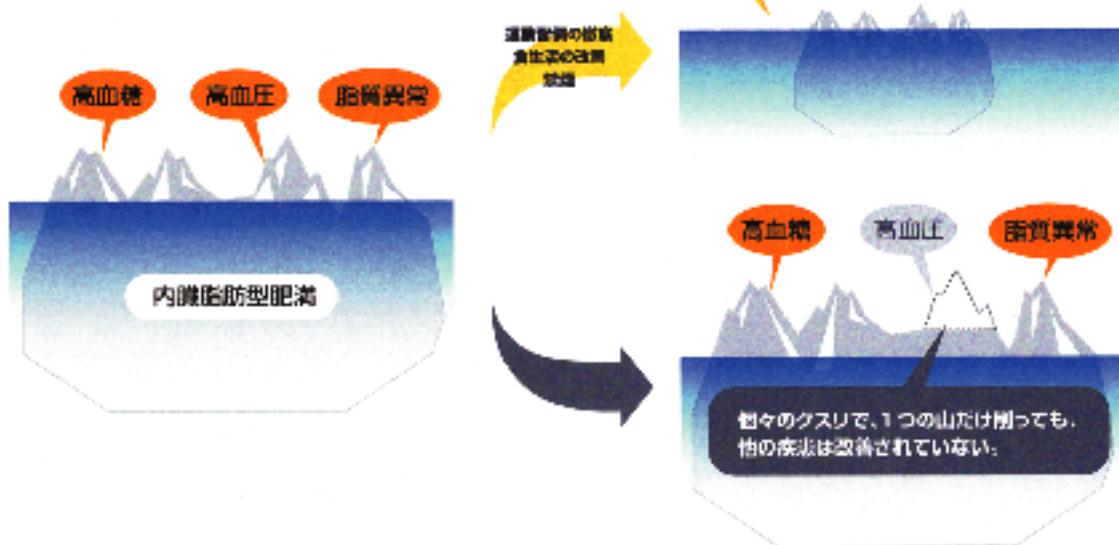
4 対策は健康習慣

食生活の欧米化と交通機関の発達から日本人はいつの間にか過食・運動不足になり内臓脂肪の蓄積から「メタボリックシンドローム」を引き起

こす様になつてきました。しかし原因がはつきりしている以上、対策もはつきりしており動脈硬化の連鎖の渦に巻き込まれる前に生活習慣の改善に取り組む事が重要です。「肥満」「高血糖」「高血圧」「脂質異常」の一つ一つが軽症でもアメリカでは「死の四重奏」とも呼ばれ症状が無くとも積極的な治療がされている病気です。決して悔らず、異常を指摘されたら受診をして下さい。また、健診を受ける事も大切です。



## ○氷山の一角



(C) 内臓脂肪の減少により、  
高血糖、高血圧、脂質異常がともに改善

日々のクスリで、1つの山だけ削っても、  
他の疾患は改善されていない。

「メタボリックシンдро́м」で  
ない方にとっても食事療法・運動療  
法は健康習慣として有効である事は  
言うまでもありません。

厚生労働省ホームページより

## 院長コラム

## 医療における信頼関係～福島県大野病院事件から～

キッコーマン総合病院 院長 久保田 芳郎

福島県大熊町の県立大野病院で2004年、帝王切開で出産した女性が手術中に死亡した事件で、業務上過失致死などの罪に問われた産婦人科医加藤克彦被告(40)に対し、福島地裁は8月20日「標準的な医療措置で過失はなかった」として無罪判決（求刑禁固1年、罰金10万円）を言い渡しました。故意や明白なミスでなく通常の医療行為で医師が逮捕、起訴されたこの事件は卒後臨床研修の必修化で深刻化した産婦人科医不足、医療機関の分娩からの撤退、そして医療崩壊に拍車をかけたとされています。

業務上過失致死傷罪では、「患者の死亡」といった「結果」の予見可能性や回避可能性を前提として、不注意によりその認識を欠き、結果を回避しなかったこと（注意義務違反）が犯罪行為とされます。大野病院事件の判決では「医療行為が身体に対する侵襲を伴うものである以上、患者の生命や身体に対する危険性があることは自明であるし、そもそも医療行為の結果を正確に予測することは困難である」との見解を示しました。そして事態を結果から見るのではなく、医療行為時において、一義的に何をなすべきかを確定できない場合には、どちらかを選択したことによる結果だから非難することは誤りであることを明確に示したといえます。判断の時点で非難可能性がない場合、結果が悪くても非難してはならないことを強く戒めたものともいえます。

医療行為において、任意の一つの方法を取らなかつたことが容易に法的義務違反（犯罪）とされたのでは、医療は大混乱に陥ります。本件判決は、これらの医療の性質（本質）や現状を良く理解したものであると高く評価する声が数多くあがっています。医療行為においては合併症は必ずある頻度でおこります。それは患者さんはひとりひとり異なる肉体、異なる既往、異なるリスクを有しているため、合併症を避ける努力をしてもおきてしまうときはおきるからです。合併症がおこることが問題なのではなく、それに対して適切なる処置をとることをすべて含めるのが診療行為なのです。医療とはもともと絶対的な存在ではなく不確実性を前提とした行為であるといえます。

医療で最も重要なことは患者さんと医師との信頼関係であり、これはいつの時代でも変わらない医療行為の本質です。もちろん患者さんからの信頼を勝ち得るためにには医療関係者はプロフェッショナルとしてのプライドと、新しい知識、確かな技術を取り入れる努力と情熱が必要です。それをわかりやすく説明する技術と人格も求められます。今一度、医師—患者間の信頼関係をとりもどし、医療への過大なる期待とそれを得られなかったときの非難、叱責だけではなく、ヒトとヒトとの温かく分かり合え、共感できる優しい信頼関係を築き上げることが、今日の日本の医療に一番求められているのではないでしょうか。

# 常勤外来担当医師紹介



院長(外科)

くはた よしろう  
久保田 芳郎

**専門分野** 消化器外科、大腸肛門外科

東京大学1974年卒業  
(医局:東京大学第一外科)

医学博士、東京理科大学薬学部客員教授、日本大腸肛門病学会評議員・専門医、日本消化器病学会関東支部会評議員、日本外科学会認定医、日本消化器外科学会指導医・専門医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会評議員



副院長・診療部長

みかみ しげる  
三上 繁

**専門分野** 消化器内科、肝胆脾内科

千葉大学1986年卒業  
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、東京理科大学薬学部客員教授、日本胆道学会評議員、日本消化器病学会関東支部会評議員、日本内科学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本肝臓学会専門医、日本超音波医学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本消化管学会胃腸科認定医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本医師会認定産業医、日本感染症学会認定ICD(感染制御医師)、日本人間ドック学会認定医



小児科部長

あくた なおこ  
芥 直子

**専門分野** 小児科一般

小児血液腫瘍学

小児リウマチ学

愛媛大学1985年卒業  
(医局:東京大学小児科)

医学博士、日本小児科学会専門医、日本補完代替医療学会認定学識医、日本補完代替医療学会常任委員



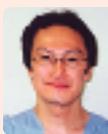
整形外科部長

たなか としかず  
田中 利和

**専門分野** 整形外科一般、上肢機能外科

旭川医科大学1985年卒業  
(医局:筑波大学整形外科)

医学博士、日本整形外科学会認定医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本体育協会認定スポーツ医



外科部長

かわぐち よねい  
川口 米栄

**専門分野** 消化器外科、内視鏡外科、乳腺外科

東京大学1987年卒業  
(医局:東京大学第一外科)

日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医、マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定医



消化器内科部長

あきもと まさひで  
秋本 政秀

**専門分野** 消化器内科、肝胆脾内科

千葉大学1990年卒業  
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、日本消化器病学会専門医、日本内科学会認定医



耳鼻咽喉科部長

いいお みつひろ  
飯尾 光博

**専門分野** 耳鼻咽喉科

北海道大学1994年卒業

日本耳鼻咽喉科学会認定医



眼科部長

おばざわ みのる  
尾羽澤 実

**専門分野** 緑内障

東海大学1994年卒業  
(医局:慶應義塾大学眼科)

医学博士、日本眼科学会専門医



眼科医長

はなぞの げん  
花園 元

**専門分野** 眼科

慶應義塾大学2000年卒業  
(医局:慶應義塾大学眼科)

日本眼科学会専門医、日本抗加齢医学会専門医



内科医長

しみず しろう  
清水 史郎

**専門分野** 消化器内科

富山医科薬科大学1995年卒業  
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、日本医師会認定産業医



内科

いまむら たかあき  
今村 隆明

千葉大学1996年卒業  
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、日本内科学会認定内科専門医、米国内科学会正会員、米国消化器病学会正会員、日本消化器病学会専門医



生活習慣病内科医長

ささき のぶかず  
佐々木 信和

**専門分野** 高血圧、糖尿病、内分泌代謝

島根医科大学1997年卒業  
(医局:東京大学腎臓内分泌内科)

日本医師会認定産業医、日本内科学会認定医、日本抗加齢医学会専門医、日本補完代替医療学会常任委員・日本補完代替医療学会認定学識医



外科

かわさき しんじ  
川崎 普司

東京大学2001年卒業  
(医局:東京大学第一外科)

日本外科学会認定医



整形外科

すがや ひさし  
菅谷 久

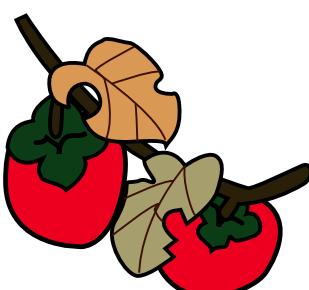
筑波大学2004年卒業  
(医局:筑波大学)



外科

やじま しょう  
谷島 翔

東京大学2006年卒業  
(医局:東京大学第一外科)



# 診療担当表

●全科で予約診療を実施しています。電話での予約受付時間は平日の午前10時より午後4時まで。

**専用電話番号 04-7123-5932(代)**

※休診等で変更になる場合がございます。ご了承ください。

受診の際は診察券を御忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ち下さい。

●外来・受付時間 午前8時～11時、午後1時～午後3時

平成20年11月1日現在

診 察 科		診 療 案 内	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	消化器	三上/今村	清 水	秋 本	清 水	三上/今村	秋 本
		生活習慣病	佐々木	麻 生	佐々木	塚 越	若 林	佐々木
		呼吸器		川 田		植 山		
		腎 臓						太 田
		循 環 器		宮 田		上 原		
		リウマチ			坪 井			
	午後	消化器			今 村		清 水	
		生活習慣病		佐々木(予約制)				
		呼吸器		川田(予約制)		植山(予約制)		
外 科	午前	総合・消化器	久 保 田	川 崎	川口(米)	川口(米)	久 保 田	川口(米)
			川 崎	谷 島			川 崎	谷 島
産 婦 人 科	午前	総 合		飯 塚	山 本	林		
	午後	総 合		飯 塚	山 本	林		
小 児 科	午前	総 合	芥	芥	芥	康	芥	芥
	午後	総 合	芥		芥	赤木/阿波	芥	
整 形 外 科	午前	総 合	落合/菅谷	田 中	筑波大医師	菅 谷	田 中	田 中
		総 合	田 中	菅 谷		筑波大医師	菅 谷	菅 谷
	午後					手の外科		
耳 鼻 咽 喉 科	午前	総 合	飯 尾	慈惠医大医師	飯 尾	飯 尾	飯 尾	慈惠医大医師
	午後	総 合		慈惠医大医師			飯 尾	慈惠医大医師
眼 科	午前	総 合	尾 羽 澤	河野/花園	尾羽澤/花園	慶應大学医師	尾 羽 澤	尾羽澤/花園 (交代制)
	午後	総 合	特殊検査	河 野 (2008年12月迄)	特殊検査	慶應大学医師	特殊検査	
皮 膚 科	午後	総 合			医科歯科大医師		医科歯科大医師	
泌 尿 器 科	午後	総 合			根 岸	根 岸	大 村	
脳 神 経 外 科	午後							東大医師

# 循環器・消化器病検査担当表

平成20年11月1日現在

検査名		月	火	水	木	金	土
胃 内 視 鏡	午前	川口／川崎	三上／今村	清水／今村	川崎／谷島	秋 本	三 上
腹 部 超 音 波	午前	秋本／清水	秋 本		三上／今村		清水／今村
乳腺・甲状腺超音波	午前			川崎／谷島		川口／谷島	
頸動脈超音波(15:00~)	午後		三上/秋本/清水		三上/秋本/清水		
胃・大腸X線検査	午前			清水／今村	川崎／谷島	清 水	
大 腸 内 視 鏡	午後	三上/秋本/清水/鈴木	久保田/川崎/谷島	秋本／清水	川口/川崎/谷島	三上/秋本/今村	
心 臓 超 音 波	午後		宮 田				

## 新人紹介

よろしくお願いいたします。



放射線  
大嶋 智也



看護部  
小西 正美



看護部  
木村 淳子



看護部  
後藤 照美

## 専門外来(予約)・特別診療のお知らせ

(詳しくは各外来にお尋ね下さい。)

平成20年11月1日現在

●整形外科	装具外来(木、土曜日午前) 特別診療(毎週月曜日午前) 担当:筑波大学整形外科 落合 直之教授
●小児科 予約診療	内分泌(第3土曜日午後) 腎臓(不定期) 神経(第3土曜日午前) 循環器(第2土曜日午前) 乳幼児健診(火曜日午後、第2・第4土曜日午後) ※6ヶ月健診はお早めに。7ヶ月目になると有料となります。 元気な子外来(第1・第3土曜日午後)



# おもな 非常勤外来 担当医師 紹介



整形外科  
(月曜日午前)

おちあい なおゆき  
落合 直之

専門分野 上肢機能外科

東京大学1973年卒業  
(医局:筑波大学整形外科)

医学博士、筑波大学整形外科教授、日本整形外科学会認定医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本整形外科学会評議員、日本手の外科学会評議員、日本臨床スポーツ医学会評議員、日本肘関節研究会理事



産婦人科  
(木曜日午前・午後)

はやし まさとし  
林 雅敏

専門分野 産婦人科

東京医科歯科大学1975年卒業  
(医局:東京医科歯科大学)

医学博士、獨協医科大学越谷病院産婦人科教授、日本妊娠高血圧学会理事、日本女性心身医学会理事、日本母性衛生学会幹事、評議員、日本更年期医学会評議員、日本胎盤学会評議員、日本産婦人科・新生児血液学学会評議員、悪性腫瘍化学療法研究機構(JGOG)会員、日本産科婦人科学会専門医



生活習慣病  
(火曜日午前)

あそう よしまさ  
麻生 好正

専門分野 糖尿病、内分泌代謝

群馬大学1987年卒業  
(医局:獨協医科大学内分泌代謝・血液・神経内科)

医学博士、獨協医科大学内科教授、日本糖尿病学会指導医・専門医、日本内分泌学会評議員・専門医、日本内科学会専門医、日本糖尿病学会評議員



生活習慣病  
(木曜日午前)

つかこし の あ  
塚越 乃亜

専門分野 糖尿病、内分泌代謝

獨協医科大学2000年卒業  
(医局:獨協医科大学  
内分泌・血液・神経内科)



内科  
(土曜日午前)

おおた よし あき  
太田 義章

専門分野 腎臓内科

千葉大学1978年卒業  
(医局:筑波大学腎臓内科)

医学博士、日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医



泌尿器科  
(水・木曜日午後)

ねぎし たけはる  
根岸 壮治

専門分野 泌尿器科一般

東京医科歯科大学1960年卒業

医学博士、日本泌尿器科学会専門医  
(元春日部市立病院長)



泌尿器科  
(金曜日午後)

おむら みのる  
大村 稔

専門分野 泌尿器一般

東京医科歯科大学1996年卒業



小児科  
(木曜日午前)

こう かつよし  
康 勝好

専門分野 小児血液腫瘍学

東京大学1992年卒業  
(医局:東京大学小児科)



小児科  
(第1・2・3・5木曜日午後)

あか ぎ み ち お  
赤木 美智男

専門分野 小児循環器病学

東京大学1979年卒業  
(医局:杏林大学小児科)

医学博士、杏林大学医学教育学教授、日本小児科学会小児科専門医、前杏林大学小児科教授



小児科  
(第4木曜日午後)

あわ しょういち  
阿波 彰一

専門分野 小児循環器病学、  
システム生理学

東京大学1961年卒業

医学博士、日本小児科学会小児科専門医、前杏林大学小児科教授



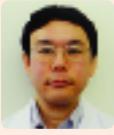
循環器内科  
(木曜日午前)

うえはら よしき  
上原 良樹

専門分野 循環器内科

東京慈恵会医科大学1991年卒業  
(医局:慈恵医大循環器内科)

医学博士、日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医



生活習慣病  
(金曜日午前)

わかばやし さだ お  
若林 貞男

専門分野 生活習慣病

獨協医科大学1997年卒業  
(医局:獨協医科大学)



リウマチ・膠原病  
(水曜日午前)

つぼい ひろと  
坪井 洋人

専門分野 リウマチ・膠原病

筑波大学2001年卒業  
(医局:筑波大学)



眼科  
(火曜日午前・午後)

こう の 河野 慶子  
(2008年12月迄)

専門分野 眼科一般

東海大学2000年卒業  
(医局:慶應義塾大学眼科)



耳鼻科  
(火曜日午前・午後)

さわだ こうき  
澤田 弘毅

専門分野 耳鼻科一般

東京慈恵会医科大学1999年卒業  
(医局:東京慈恵会医科大耳鼻科)



内科  
(木曜日午前)

うえやま たろう  
植山 太郎

専門分野 呼吸器内科

千葉大学2000年卒業  
(医局:千葉大学呼吸器科)



内科  
(火曜日午前・午後)

かわだ な お こ  
川田 奈緒子

専門分野 呼吸器疾患

千葉大学2000年卒業  
(医局:千葉大学呼吸器科)



循環器内科  
(火曜日午前)

みやた しゅういち  
宮田 秀一

専門分野 循環器内科

東京慈恵会医科大学1999年卒業  
(医局:慈恵医大循環器内科)



婦人科  
(火曜日午前・午後)

いいづか まこと  
飯塚 真

専門分野 婦人科

獨協医科大学2004年卒業



婦人科  
(水曜日午前・午後)

やまもと あつし  
山本 篤

専門分野 婦人科

東京医科歯科大学2005年卒業



# 作業療法について

キッコーマン総合病院 作業療法士 大野 博子

今年度4月より当院ではリハビリテーションの分野の一つとして作業療法を開設いたしました。リハビリという言葉は最近ではよく耳にする言葉となっていますが、作業療法という言葉は皆さんにはまだ馴染みのない言葉かもしれません。そこで今回は、作業療法について少しお話したいと思います。

まず作業療法を述べる前にリハビリとは何か少し簡単にお話したいと思います。リハビリとは正式にはリハビリテーション(re-habilitation)と言います。病気や怪我などにより何らかの障害を持った人が、社会の一員として、人間らしく生活し、生きることを支えることをいいます。リハビリテーションの分野として理学療法(PT;Physical Therapy) 作業療法(OT;Occupational Therapy)言語聴覚療法(ST;Speech Therapy)などがあります。

では、作業療法とはどのようなものでしょうか。

## 作業療法とは (社)日本作業療法士協会・定義

身体または精神に障害のある者、またはそれが予測されるものに対してその主体的な活動の獲得をはかるため、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて行う治療・指導・援助を行うこと

と述べられています。なんだか堅苦しくて分かりにくい印象を受けるかもしれません。この定義を自分なりの言葉で表すと、人は毎日たくさんの作業に囲まれ生活しています。朝の身支度ひとつをとっても顔を洗って、歯を磨いて、髪をとかす、などの作業・活動が集まって朝の身支度という作業になります。その他にも、学校に行って勉強したり、友人と遊んだり、会社へ行って仕事をしたり、家事仕事をします。趣味活動として、料理や編み物、スポーツ、読書、畠仕事など一日の中で人はたくさんの作業・活動を行います。

作業療法ではこうした作業・活動をたとえ障害を持ったとしても今までのよう、または何か変わりの手段を使って、どのように行えるか患者様と一緒に考え、その人らしい生活を行えるよう援助していくものである考えています。

具体的には、以下の図のように、食事動作やベッドの乗り移り、トイレ動作、着替え動作の練習や、自宅へ退院される場合の住宅改修のアドバイス、ご自宅へ戻られてからの家庭復帰・職業復帰など多岐にわたり患者様をサポートしていきます。

日常生活の中で困っているちょっとしたことでも構いません。いつでも作業療法士にご相談ください。少しでもあなたらしい生活が送れるよう一緒に考えていきましょう。



## エッセイ

# 臨床工学技士について

臨床工学技士 透析技術認定士 岡崎 優敦

臨床工学技士 (CE:Clinical Engineer) は、医師の指示の元に、生命維持管理装置の操作および保守点検を行う仕事をしています。

生命維持管理装置とは血液浄化装置・人工心肺装置・人工呼吸器・高気圧酸素治療装置等があります。あまり聞き覚えの無い装置ばかりだと思いますが、近年の医療の進歩は医療機器によって支えられており、医療機器も日々目覚しい進歩を遂げています。そこで専門性が高くなってきた為、1987年に医療機器の専門家として誕生しました。20年経った昨年で23101

名とまだ医療資格の中では少ないです。

昨年に医療機器安全管理の為の法令が施行されて需要が急激に高まりましたが、それでも全国で臨床工学技士を配置している施設は約30%しかないので現状です。安全に医療を行うにはチーム医療が欠かせません。臨床工学技士は医療機器の専門家として質の高い医療を支えていくことが使命であり、全ての施設に配置される事に繋がると思います。これからもより一層、質の高い技術・知識を勉強し安全に寄与していきたいと思います。

# ひろば 声の宅急便

## 私の趣味

2階病棟看護師 岩本 明恵

私は今、「これが趣味です」といえるものは持っていない。小さい頃から冬にはスキーへ行っていたが、趣味といえるほど好きではない。体を動かすことは好きで、今も冬にはスキーヘ行くが、夏にすることがない。そのため最近サーフィンを始めたが、始めたばかりで、趣味という言葉には当てはまらない気がする。

しかし、毎日・毎週という期間に捕われないで良いのなら、私はアジアへ行くことが好きだ。看護学生の頃は毎年行っていた。旅行というよりも、ほとんどボランティア活動で行っていたため、観光地の記憶はほとんどない。なにより、学生でお金がないため、旅行の準備から大変だった。旅行準備は大体三ヶ月前から始めた。旅行期間は大体二週間だったのだが、いかに費用を七万円以下に抑えるかに労力を費やした。ボランティア活動には通訳と車が必要不可欠なのだが、日本語の通訳は高いため、英語の通訳を頼んだ。別に英語が話せるわけではないため、これは毎年賭けだった。しかし、毎年なんとかなっていたことは、今でも不思議だ。次に車なのだが、クーラー付きの車は高い。しかし、施設や村で活動するためには日程の何日かは移動日になるため、がんばってクーラー付きの車にしていった。でも、この二つさえ乗り切つてしまえば、あとは何も問題はなかった。ほとんどホームステイのため、宿泊費用はかからないし、毎日三百円あれば、お腹一杯食べられる。観光地に行かなくても移動の風景だけで十分に楽しめた。

社会人になり、学生の頃より費用面での余裕はできたが、今も旅行をするなら、学生時代の旅をしたい。目的を決めて、自分達で準備をし、かけがえのない経験をしてくることは、心身ともにリフレッシュできることだ。

それに、「次はどこに行こう」という段階から考えれば、準備に一年かけてもいいだろう。今年から、そのような旅を趣味にしてみても良いかもしない。



- p.1 生活習慣病について
- p.2 院長コラム
- p.3 常勤医師紹介
- p.4 診療担当表
- p.5 循環器・消化器病検査担当表
- p.5 新人の紹介
- p.5 専門外来・特別診療
- p.6 非常勤医師紹介
- p.7 作業療法について
- p.7 エッセイ:臨床工学技士について
- p.8 ひろば:私の趣味
- p.8 編集後記

## 編集後記

日曜日の新聞折り込みの中に入ってくる求人情報。「看護師さん、介護士さん募集」皆さんには目にしませんか。ダンツツに病院、介護施設の求人が毎回多いように思います。厚生労働省によると、看護師は3万7000人が不足し、介護職員は1年間に20%辞めてしまうそうです。そんな中、今年の8月、インドネシアから日本で看護師、介護士として働くために約200人のインドネシア人がやってきたのを御存知でしょうか? EDA(経済連携協定)では、2年間で1000人の外国人の看護師、介護士候補生を受け入れる予定だそうです。彼らは日本語をマスターし、病院や施設で働きながら国家試験に合格し資格を得るために勉強をするのです。わたしも十数年前に看護師の国家試験に合格したわけですが、ものすごく難しく、苦しい勉強なのです。インドネシアから来る人の中にはあちらの国で医師だったりとかなりの高いレベルの人々だそうです。もし国家試験に落ちてしまったら、母国に帰らなければなりませんから、必死で勉強し合格することでしょう。

想像してみてください。わたしたちの病院にも近い将来、外国人の看護師が働いているかもしれません。文化や言葉などの違いで困ってしまうこと、またプラスになることもあるかもしれません。やがてやってくる超高齢化社会に立ち向かうべく手段を自分達の国で考えることはできないものなのでしょうか。話は大きくなってしましましたが、新聞の折り込み求人を見ながら、そんなことを考えている日曜日の朝でした。

看護部 伊藤 郁江

●全科で予約診療を実施しています。  
電話での予約受付時間は平日の午前10時より午後4時まで。

専用電話番号

**04-7123-5932(代)**

※休診等で変更になる場合がございます。ご了承ください。

受診の際は診察券を御忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ち下さい。

発行 キッコーマン総合病院広報委員会

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100

TEL.04-7123-5911(代表)

FAX.04-7123-5920

ホームページアドレス

<http://www.kikkoman.co.jp/hospital/>

メールアドレス

[hospital@mail.kikkoman.co.jp](mailto:hospital@mail.kikkoman.co.jp)